

吉田裕館長「朝日賞」受賞記念講演会

なぜ戦争体験を継承するか —今、戦争体験を継承することの意味—

東京大空襲・戦災資料センターは、当館の吉田裕館長が、栄えある2025年度「朝日賞」を受賞したことを記念して、下記の通り講演会を開催いたします。

いま世界では、無辜の民が空爆の犠牲となるいっぽう、力による支配や市民の分断を招くような動きも顕著になっています。この講演会は、過去の戦争の歴史から未来に続く平和への道筋を考える機会に、そして当センターの存在意義をあらためて共有する機会としたいと考えております。

幅広い市民のみなさまのご参加をお待ちしております。



○日 時 2026年5月17日（日）

13時30分受付開始 14時開会 16時15分閉会予定

○会 場 一橋大学一橋講堂（千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内）

○参加費 一般2000円／センター維持会員1500円／大学生1000円／
高校生500円／中学生以下および障がい者の付き添い1名無料

○定 員 500名 **事前申し込み制** 締め切りは5月15日（金）までです。

定員に達した場合にはキャンセル待ちになりますのであらかじめご了承ください。

■構成

第1部 トークショー「今、漫画で戦争を描くことの意味」

ゲスト：武田一義さん（漫画家／『ペリリュ— 楽園のゲルニカ』作者）

※映画版『ペリリュ— 楽園のゲルニカ』予告編 ⇒

聞き手：早乙女愛さん（映像編集者／東京大空襲・戦災資料センター運営委員）



第2部 講演「東京大空襲と歴史学」

吉田裕さん（一橋大学名誉教授／東京大空襲・戦災資料センター館長）

〈主 催〉東京大空襲・戦災資料センター

〈連絡先〉〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4

TEL:03-5857-5631 FAX:03-5683-3326

<https://tokyo-sensai.net/>